令和８年１０月２７日

部課長各位

大山崎町長　前川　光

令和９年度当初予算編成方針に係る重点施策等について

令和８年１０月７日付で通知しました令和９年度当初予算編成方針のうち、重点施策等について次の通り定めましたので通知します。

（基本的な考え方）

令和９年度は、前川町政の三期目となる４年間の、新たなスタートの一年である。

まずは、先般の選挙で示された町長公約について、速やかに実施あるいは検討を進めることとし、その内容も含め以下のとおり重点施策に取り組むこととする。

基本的な考え方としては､持続可能な町政の実現に向けて､｢住民参加のまちづくり｣を基本とし、住民一人ひとりが主体的に地域活動やまちづくりに参画し、多様な主体との協働・共創により地域課題の解決を図るとともに､｢小さな行政｣の一層の推進に取り組むこととする。

また、行政手続のオンライン化やAI・RPAの導入など、行政のデジタル・トランスフォーメーションを推進し､行政運営の効率化と住民生活の利便性向上の両立を図る。

さらに、子育て環境の充実や健康づくりの推進に加え、多世代が交流できる地域コミュニティの拠点となる複合化施設について、令和９年度末の供用開始に向けた整備を進めるとともに、民間活力の更なる活用を図り、持続可能なまちづくりを推進するための予算を編成する。

（重点施策）

①子育て・教育のまち

町立小中学校給食費の無償化、町立小中学校体育館への空調整備、子育て支援医療費助成事業など、子育て環境の充実を着実に進めている。今後も、豊かな自然環境を生かした「質の高い学び」の推進や、保育現場における保育環境の充実を図るなど、若年層や子育て世代に訴求力の高い施策を重点的・集中的に推進する。

また、行政・地域の意思決定の場への若者や女性の参画を促進し、誰もが自分らしく活躍できる環境づくりを進める。

②健康・福祉のまち

高齢者一人ひとりに応じた多様な社会参加や人・地域との関わりを促進し、シニア世代の生きがいづくりや地域での活躍の場の創出を図る。また、地域で支え合う福祉の充実と移動の安心を確保するとともに、人や社会との多様なつながりを地域全体の well-being（幸福度）の向上につなげ、地域の活性化を図る。さらに、あらゆる世代の健康づくりを推進し、生涯にわたり健やかに活躍できる健康長寿の実現に向け、実効性のある施策を展開する。

③環境・魅力のまち

令和２年９月に表明した「ゼロカーボンシティ宣言」に基づき、脱炭素化に向けた実効性のある施策を推進する。また、御茶屋池や円明寺山荘周辺の整備および「かわまちづくり」を進め、本町の強みである豊かな自然環境や歴史を生かした魅力発信を通じて、住民が我が町に愛着と誇りを持てるまちづくりを行う。あわせて、地域と調和した緑化運動の活性化を図る。

④災害に強い「安心・安全」のまち

町民の暮らしを支える道路や上下水道管などのインフラ資産について、計画的な維持管理や耐震化を力強く進めるとともに、ユニバーサルデザインの視点を基本に据え、誰もが安心して安全に通行できるバリアフリーな道路環境の整備を推進し、災害に強く誰もが快適に暮らせるまちづくりを行う。

⑤住民が主人公の「対話と誠実」の町政

常に町民目線に立ち、対話と誠実な姿勢を基本として、多様化する住民ニーズに的確に応える施策を推進する。また、町政に対する信頼を一層深めるため、行財政情報の積極的な開示や分かりやすい発信による「見える化」を徹底し、住民との協働による開かれた町政を展開する。あわせて、施設予約や窓口申請におけるオンライン化など行政手続きのデジタル化を推進し、町民の利便性向上を図る。